

平成18年度 図書館等調査研究事業報告

趣 旨

最近の図書館運営を取り巻く様々な状況（利用者ニーズの拡大、予算や人員の削減など）に対処していくためには、市町村枠を越えた図書館相互の連携と協力が必要です。

また、平成18年3月に文部科学省が報告した「これからの図書館像～地域を支える情報拠点をめざして～」の中では、これまでの貸出中心のサービスから、より調査研究機能の充実や情報提供能力の拡充を図る必要がある旨の方向性が示されています。

このことを踏まえ、これからの図書館運営に当たっては、司書としての専門性を生かし、利用者に対する幅広い情報提供に努め、暮らしに役立つ図書館としての機能を広く利用者に周知していくことが必要となっていきます。

この課題解決に向け、県内の公立図書館関係者が集い、図書館に関する諸課題の検討や、郷土（岩手）に関する有益な資料の構築、未来を担う子どもたちへのサービスのあり方などを検討し、実行していくことを目的としてこの事業がスタートしました。

協力者

盛岡市立図書館	伊藤 貞子	盛岡市都南図書館	工藤 俊行
花巻市立石鳥谷図書館	似内千鶴子	北上市立中央図書館	千田たつ子
奥州市立水沢図書館	藤原 薫	一関市立一関図書館	佐々木明子
一関市立千厩図書館	片野 裕嗣	陸前高田市立図書館	長谷川敬子
宮古市立図書館	藤田 隆	洋野町立大野図書館	奥寺 幸子
一戸町立図書館	武田 昭彦		

内 容

開催日 平成18年11月 9日
平成18年12月21日
平成19年 1月25日

調査研究テーマ

郷土岩手に関する調査相談事例集の作成
子ども向けのお勧め本リストや図書館の活用法に関する資料の作成
県内各地の図書館関係規程の取りまとめ ほか

進捗状況

参加各館が取り組んだ岩手に関連する調査相談事例（利用者からの質問に対する調査相談事例）の中から、子どもたち向けの事例、歴史・風俗・人物に関する事例、方言・ことわざ・伝説などに関する事例集として、取りまとめが進められています。また、他の調査研究テーマについても、平成19年度末の取りまとめに向け、検討が行われています。